

地域の

公共施設の 未来を考える ワークショップ



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

【第5回】高津区

令和 6年 11 月 17日(日)

14:00～17:00



記録作成のため、スタッフが写真撮影をします。
NGの方はお近くのスタッフまでお知らせください。

本日の進め方

14:00 川崎市からの説明

14:10 第3回・第4回の振り返りと本日の進め方の説明

14:20 第一部 第3回・第4回の成果の共有（60分）

～他のエリアの成果を共有し、感想を出し合おう～

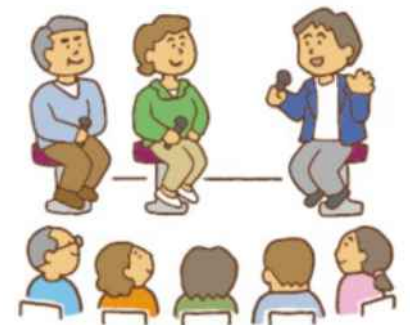
15:20 - 休憩 - （20分） 本日の成果を掲示しておきますので、ご自由にご覧ください。

15:40 第二部 トークセッション（50分）

～トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返ろう～

16:30 今後の予定・アンケート記入

17:00 閉会



1

川崎市からの説明

1 川崎市からの説明①

オープンハウス説明会の結果報告

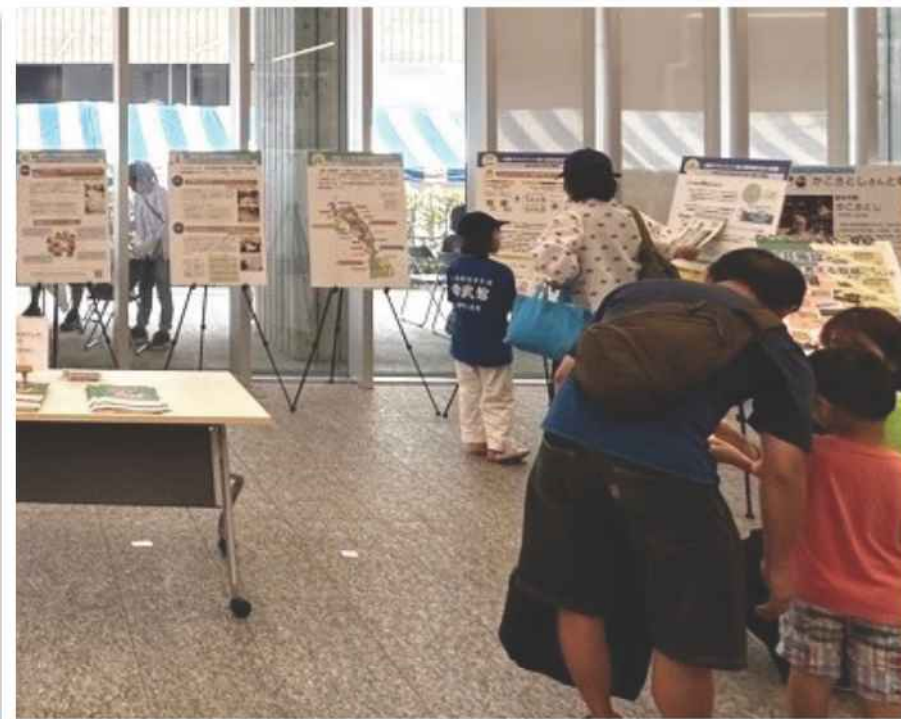
1 川崎市からの説明①

■オープンハウス説明会

川崎区「みんなの川崎祭」、幸区・麻生区の「区民祭」にて、この取組のパネル展示やチラシ配布を行い、広く市民の皆さまに周知しました。また、公共施設の使い方についてシール投票を行いました。



【川崎区：シール投票の様子】



【幸区：パネル展示の様子】

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

【現地で展示したパネル】

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

公共施設の未来を考える取組について

シール投票で缶バッジをもらおう！

クイズに答えてお菓子をもらおう！

川崎市

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

川崎市の公共施設を取り巻く現状と課題

市の公共施設の老朽化が進みます

- 市の公共施設は約 1,100 あり、10 年後には約 76% が築 30 年以上に達することから、施設機能の低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う課題が懸念されています。
- また建設費は水山の一角で、その後に維持管理費や事業運営費など、約 9 倍の費用が必要となる状況です。

築 30 年以上が約 76%

10 年後の公共施設

B の使用の合計は A の 9 倍！

① 建設費
② 光熱費
③ 維持管理費
④ 修繕費
⑤ 解体費
⑥ 事業運営費

人口減少への転換が見込まれます

- 市の人口は令和 12 (2030) 年頃における約 160.5 万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定される状況です。
- 人口減少に伴い、1 人あたり m² 数 (公共施設の床面積 ÷ 人口) が増加し、公共施設を維持するための市民 1 人あたりの費用負担も増大が見込まれる状況です。

川崎市の将来人口推計

ピーク

令和 12 (2030) 年 160.5 万人

減少見込

令和 42 (2080) 年 148.7 万人

令和 2 (2020) 年 153.6 万人

以上を踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは非常に困難です

市民負担を要えずに、市民サービスの質の維持・向上を図るためには、当面の人口増加に対応しつつ、公共施設の床面積を増やさない取組を行うことが必要です

資産マネジメントの取組を進めます

- 将来世代の負担が重くならないよう、公共施設の保有財産を適切に管理することが必要です。
- 資産マネジメント第3期実施方針を策定し、「機能重視」の考え方に基づく取組と、資産保有の最適化を重点的に推進します。
- これまで重点的に取り組んでいた施設の長寿命化については、資産保有の最適化を踏まえた上で取組を推進します。

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

基本的考え方及び取組

みんなでもっとうまく施設を使えないかな？

従来の考え方

特定の目的別、対象者別に施設を確保

子どもが利用する施設

高齢者が利用する施設

「機能重視」の考え方

施設が持つ機能（提供するサービス）に着目し、市民ニーズ等を把握した上で施設を整備

誰でも利用できる機能

昼間も夜間も

子どもや高齢者が利用できる機能

多世代で運動できる機能

多世代でくつろげる機能

利用状況や将来の利用想定等を踏まえ機能のあり方の整理を行い、施設の複合化や多目的化等の手法（※）を用いることにより、施設の適正配置を図るものであり、主に次の取組を検討します。

- 地域の利用状況を踏まえた資産保有の最適化検討
公共施設、人口動態、地域課題などの地域ごとの状況を踏まえた施設の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。
- 機能ごとの資産保有の最適化検討
ホール施設の適正配置や学校プールの最適運用など、同一機能を持している様々な施設機能の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。

（※）施設の複合化、多目的化のイメージ

複合化

施設の建て替えなどの際に、異なる機能を一緒にします

複合化施設

子どもだけ

高齢者だけ

複合化施設

みんなが利用できる

良い点

- 管理費の削減
- 施設稼働の改善
- 利用者間の交流促進など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

多目的化

利用しない時間帯や未稼働のスペースを有効に使用します

昼間だけ利用

夜間も夜間も利用

良い点

- 多様な市民ニーズへの対応
- 施設の利用率の向上など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

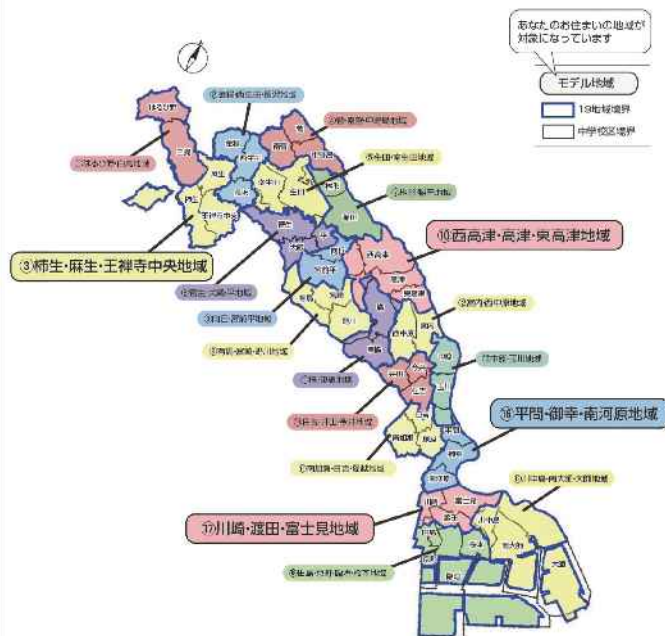
【現地で展示したパネル】



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

4つのモデル地域を選定して検討

地形、鉄道路線・バス路線の状況、町内会・自治会のエリア等も踏まえ、一旦、2～4程度の中学校区単位を基本とし、「地域」の仮設定（19地域）を行いました。19地域の中から、地域の施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、モデル地域4地域の選定を行い、令和5年度から検討を開始しています。



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

市民の皆様と一緒に、身近な地域の将来像や、将来に向けて公共施設に必要な機能を検討するワークショップを開催しています。

第1回

公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」をやってみよう！

令和5年11月～12月開催

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」は、施設の老朽化や人口減少を迎える未来で、公共施設をどのように活用していくか、楽しく遊びながら理解を深められる川崎市オリジナルのボードゲームです。

各グループのキャッチフレーズの例

- IT化が進み元気なシニアが活躍するまち
- 多世代がゆるくつながるまち
- スポーツで元気もICTも楽しめ、みんな楽しく元気のカワタン
- AI（あい）・AI（エ・アイ）で生活学習のまち



第2回

魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう！

令和6年2月～3月開催

20年後の川崎市に生活する人物（仕事、家族構成、何歳、趣味や日常の行動）をイメージしたカードを選び、その人物の状況（日常の過ごし方、困り事など）を考えました。その人たちがいきいきと暮らしている地域の将来像を出し合い、魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えました。

各グループのまとめの例

- 集中して勉強・仕事ができるスペースがまちにあることを目指そう
- 駅前駅は賑やかでよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるように
- 既存施設をより活用するために、PR強化、企業との連携、多目的などが大切
- 様々な世代が一緒に過ごせる、生涯学習の場や交流の場のようなものがあるといい

ペルソナカードの例



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

第3・4回

エリアの将来像を考え、公共施設にあつたらいいなと思う機能やニーズを考えよう！

令和6年7月～10月開催

エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考え、さらにその将来像を実現するために、公共施設にあつたらいいなと思う機能やニーズについて意見交換しました。第3回目と第4回目は、対象エリアを変えて同じ内容で行いました。

意見の例

- 利用率高い施設にカフェなどを入れて、交流に立ち寄れるように
- 子供向け施設と老人向け施設を一緒にして多世代交流を
- 仕事帰りでも利用できるよう、夜も開いているといい
- もっと親しみやすいイメージに



参加者からの声（アンケート結果より）

- 色々な世代の方の意見を聞けてとても参考になった
- 施設の老朽化は避けて通れないから、しっかり考えて魅力的なまちにしていきたい
- 地域の公共施設のことを知る良いきっかけになった
- エリアや公共施設についての資料がわかりやすかった

実施内容は川崎市HPに公開しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000157369.html>



1 川崎市からの説明①

「公共施設がどうなったら使いやすくなるか」について、シール投票を行ったところ、約1,400名の方に投票いただき、特に小中学生やお子さま連れのご家族の皆様から投票いただきました。

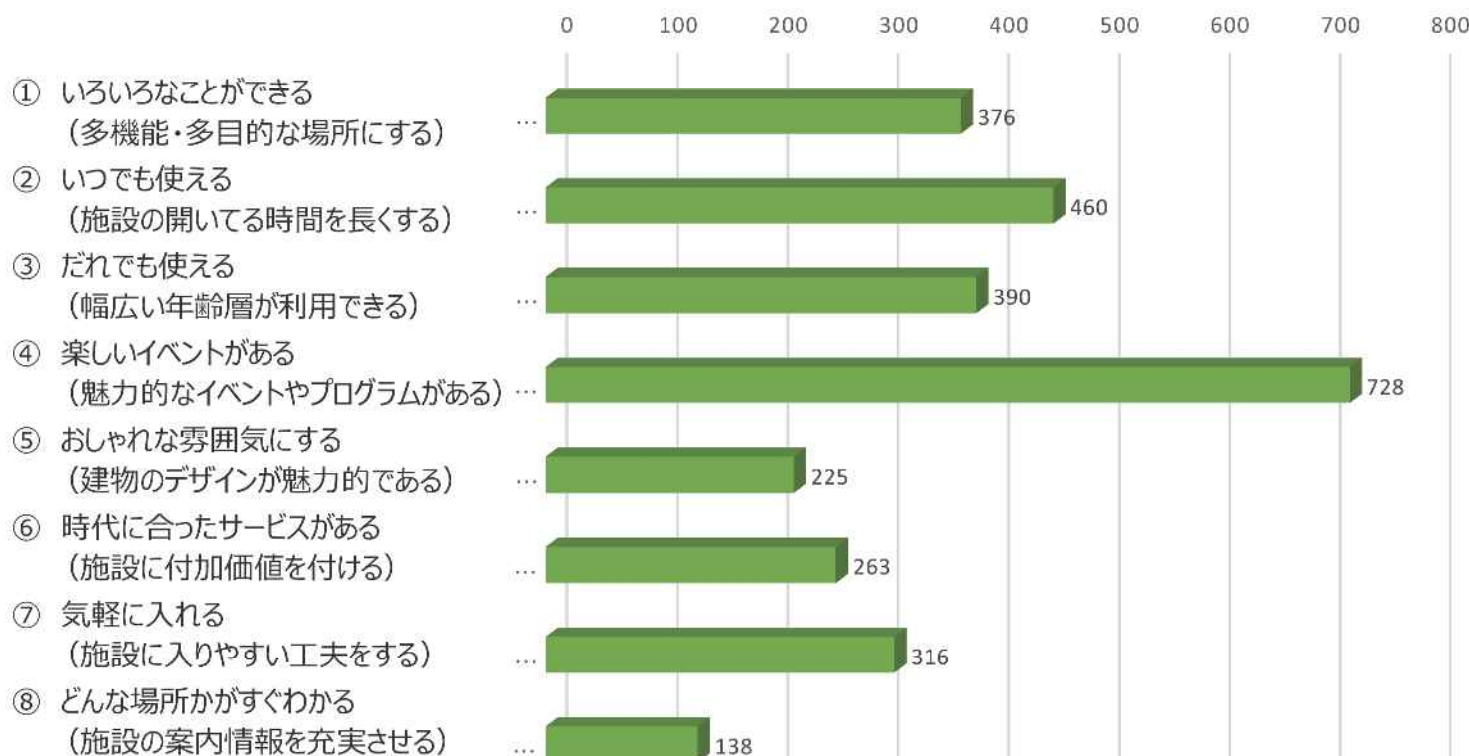
(シール投票していただいた方にはカワタン缶バッジをプレゼントしました)

【カワタン缶バッジ】



【川崎区・幸区・麻生区区民祭】
シール投票結果合計

公共施設がどうなったら使いやすくなるか



N=2,896

【麻生区：シール投票パネル】



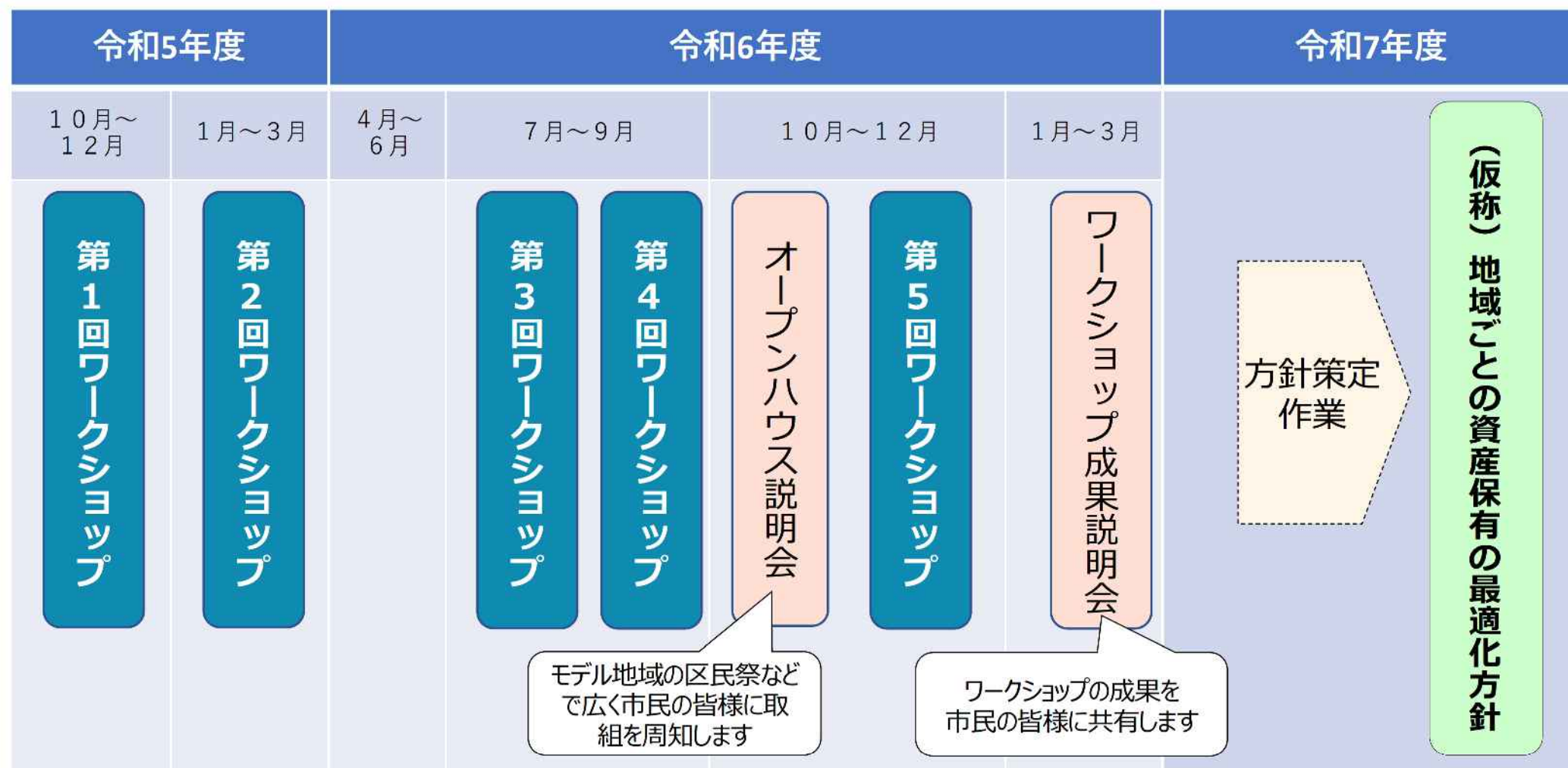
※1人2枚でシール投票

1 川崎市からの説明②

ワークショップについて

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



ワークショップについて - スケジュール -

令和5年度

第1回

カワタン
体験会

第2回

モデル
地域の
将来像・
施設の
使い方を
考える

令和6年度

第3回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討①

第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等を考える

第4回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討②

前回に引き続き、具体的な施設を基に考える
※班ごとに第3回とは別の施設を考える

第5回

第3回・第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り

班ごとに行っていた検討成果を全体に共有し、トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返る

2

本日の進め方

本日の進め方

第一部

60分

第3回・第4回の**成果を共有し、感想**を出し合おう

参加していないエリアの意見交換で出された意見を確認しよう

意見についての**感想**を出し合おう

地域の子育て
ママさんには
とても必要なの
でぜひ実現を！

〇〇に加えて
こんな機能も
あると良い

グループを移動し、別の
エリアの意見について**感想**を出し合おう



休憩

第二部

50分

トークセッションを通じて
ワークショップ全体を**振り返ろう**

これまでのご参加に感謝し、感謝状
を贈呈

参加者・ファシリテーターによる
トークセッション

これまでの**ワークショップ**を通じた
気づきなどについて、全体で感想を
出し合おう

写真撮影



アンケート記入など
今後の予定について

グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (上作延エリア、梶ヶ谷エリア)

地域の公共施設の未来を考える WS ③ 高津区

上作延エリア

2024
7/20

① 坂道を楽しむ

お店があったり、景色を楽しめる
健康寿命UP!

坂道を歩く → 健康になる

みんなが楽しめる
木を植えて緑を増やす

坂道の安全を確保
安全な歩道を作る

防災の観点から、避難経路を確保する

坂道の安全を確保
安全な歩道を作る

② 歩いて楽しむ街

歩道が広く、安全で快適な歩道を作る

利用者が多く、活気のある街になる

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

③ 子どもや高齢者が 付いて来やすい街

子どもや高齢者が付いて来やすい街

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

④ 高齢者や障がい者にとり 利便性があり移動しやすいまち

高齢者や障がい者にとり利便性があり移動しやすいまち

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

⑤ 多世代が暮らす 子育てしやすいまち

多世代が暮らす子育てしやすいまち

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

⑥ 家以外の場所でも 快適に過ごせるまち

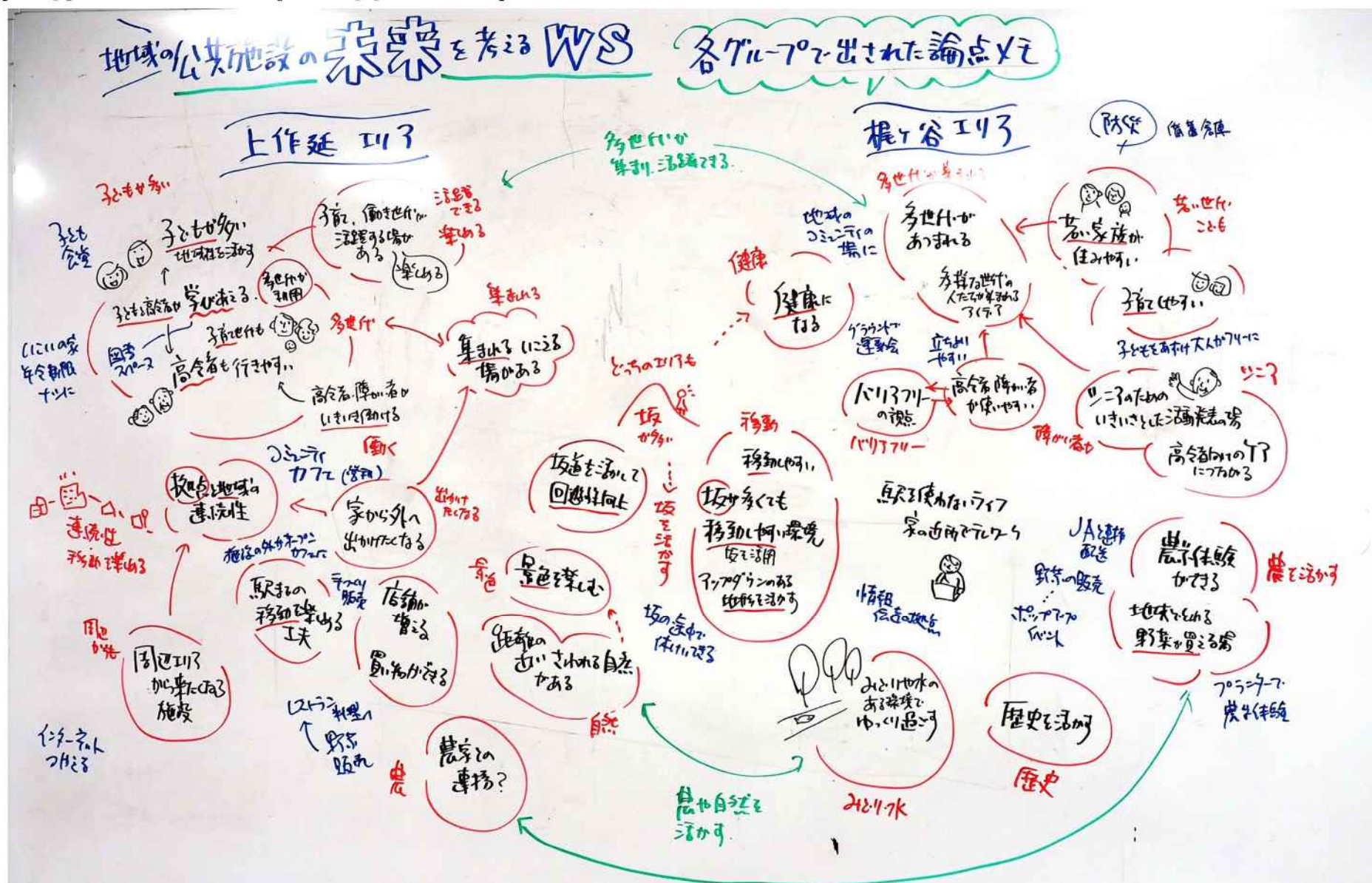
家以外の場所でも快適に過ごせるまち

安全な歩道を作る

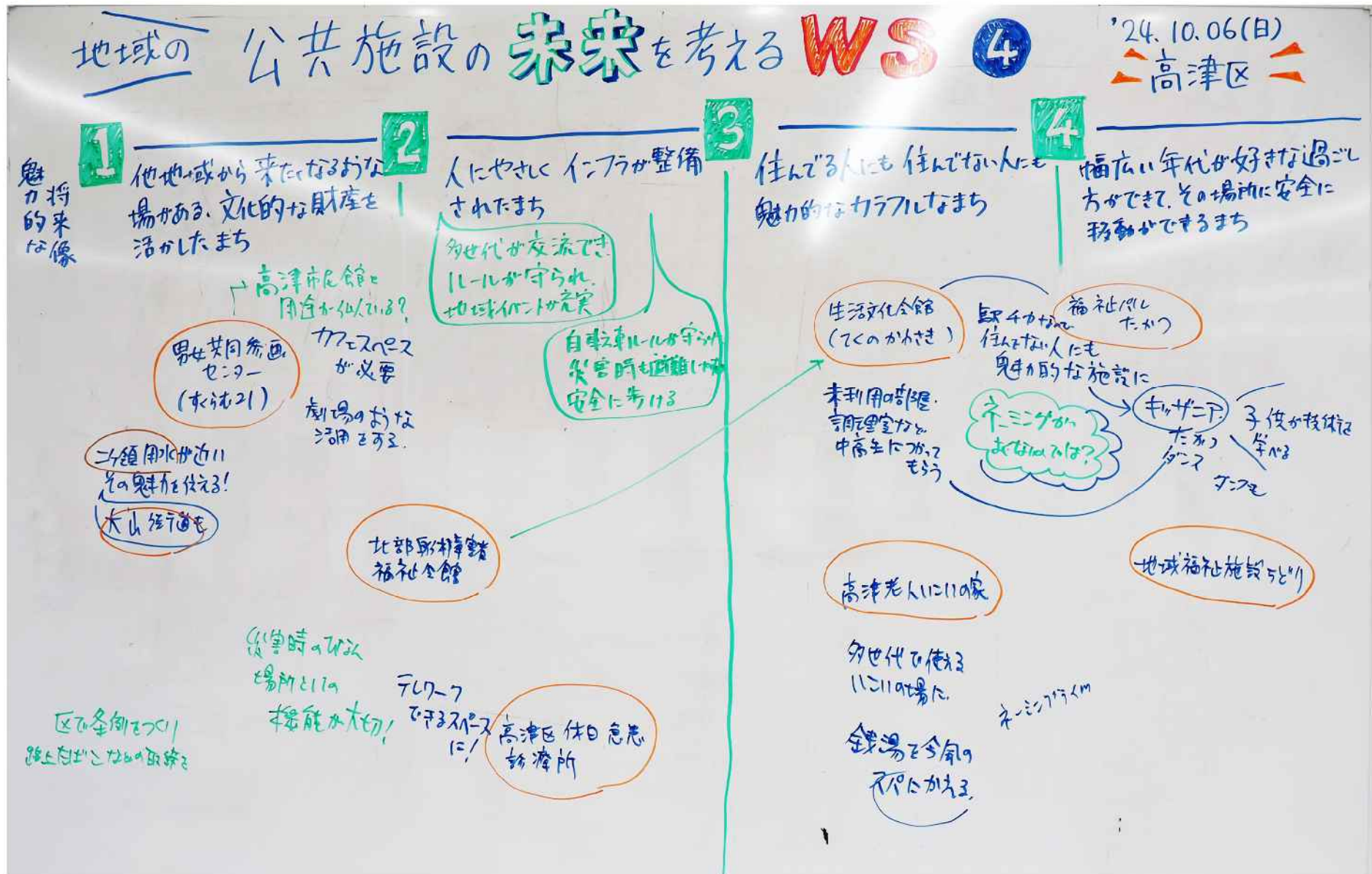
安全な歩道を作る

安全な歩道を作る

各グループで出された論点メモ
(上作延エリア、梶ヶ谷エリア)



グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (溝口エリア)



各グループで出された論点メモ (溝口エリア)



【第3回】 上作延エリア、梶ヶ谷エリア

P21：概要

P22～P27：上作延エリア

P28～P33：梶ヶ谷エリア

【第4回】 溝口エリア

P35：概要

P36～P39：溝口エリア（1・2班）

P40～P43：溝口エリア（3・4班）

第3回

上作延エリア

梶ヶ谷エリア

令和6年度 公共施設の未来を考えるワークショップ 第3回 記録【高津区】まとめ

概要	
日時	令和6年7月20日（土）14:00-17:00
場所	高津区役所5階第1・2会議室
参加者数	26名
検討エリア	1～3グループ：上作延エリア 4～6グループ：梶ヶ谷エリア



魅力的な将来像：坂道を楽しむ 健康寿命 UP!



1

起点施設にあってほしいな
と思う機能とニーズを考えよう！

上作延エリア

魅力的な将来像

第3回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.07.20

坂道を楽しむ 健康寿命の！

起点施設

特定の施設に
限らない意見

複合施設

上作延
老人いこいの家（1階）



上作延こども
文化センター
（2階）

相手方施設

みんなが大切に
したいと思った
将来に向けた視点

坂道を活かに
回遊性向上

景色を楽しむ

高齢者も
若世代も移動
しやすい

子育て、働き世代が
活躍する場がある
（楽しめる）

店舗が増える

子どもが多い地域
性を活かす

距離の近い
かわれる自然
がある

施設の外側に下り坂がある
（オープンカフェがある）

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

木造の建物、
公園、広場の
ありか
+ 緑地あり

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

景色を楽しむ
（平瀬川）
あてになる

グループ

2

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

第3回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.07.20

上作延エリア

姓 坂点と地域の連続

保育園・幼稚園が多く子どもの集まるエリア

エリアの特徴

坂が多い 山も多い 神社が多い

公園と農地 多く自然 豊か

緑地・公園 のどけい

大きい公園は少ないけど 小さい公園は多い 高齢の人が 散歩したくなる

集まる場 いる場 カフェとか 少ない

住んでいると3の近くで 買ものができるといい いる場が 少ない

おかいものに すぐいける (暑くても寒くても) お茶が淹れる 子どもしお年寄も 利用できる

ショップエリア があるところ 農家があるから 野菜はかえる

町の中心に 換となる ラッピングエリア がある。人が 集まり、活気づく! 身近なところで 買ものができるといい

企業のほうが 増えている

老人ホームが 増えている 団地が多い → 戸建が増えた

平瀬川周辺で いる場が増えるといい

平瀬川 周辺を バイクの スポットにする

子どもたちが 遊べるように

住宅地 利用 溝の口に行く バスの混雑

【高津区ガイドマップ】バスが近くを 通っていない

小学校は周辺に 多いが中学はない → 駅前に行かなく

子ども 増えている

公共交通機関 が不便 → 道が狭い

道路が広くなって 歩きやすくなっているといい

道幅の広い 歩車分離の 並んだ街

安全な道 (信号機、暗い)

危ない道路 (狭い、カーブ多い)

バスが のんびりして いる コミュニティバスが あたらしい

南武線と 南北に分かれては 自転車 シェアリング



グループ
2起点施設にあったらいいなと
思う機能とニーズを考えよう！

起点施設

特定の施設に
限らない意見みんなが大切に
したいと思った
将来に向けた視点拠点と地域
連続性集まれるいえる
場がある子どもお年寄り
多世代が利用買い物が
できる農家との
連携？

上作延エリア

利用時間
月～土 9:00-16:00
対象者
満60歳以上の市利用の中心は
子どもが多く
はさきう...

複合施設

上作延
老人いこいの家（1階）上作延こども
文化センター
（2階）利用時間
月～土 9:30-21:00
対象者
0～18歳未満
地域活動の
MTGにも活用
利用者は少な
い

相手方施設

防災拠点としての
機能があるといい
小学校が近い、川が近い、学校は8分、
ガスの配管は110分、通い！運営委員の主導から
個人での利用のイメージが
わかれ！
1日1回の利用、悪いから
5分、5分、
南側のほうが
個人でも利用は可能！17 上作延小
88 南市営住宅 } 老人いこいの家
機能と
分散できるといい！田舎合とこいの家
子どもと3世代
集まる場がある
この運営の場が重要！インターネットが
使える場には
無料Wi-Fi底層を、やるに
付そのおにせし
(特設)の
イベントも運営子どもが宿題を
する
親が
する子ども保護者世代が
子どもがいなくても
利用できる和室は
お茶の合間、
高齢者に
きつい
和室はニーズが低い
くつを敷いて上がる
ふつとイスの方が
利用ニーズありコミュニティが
できるおな
イベント
道具がある60歳以上になると
デジタリゼーション
専門士編が来るはず老人いこいの家
に利用可能子どもと一緒に
しよう！図書スペースを
増やして(本の数
も)読書エリア
中心に
読書エリアを中心にする
座布団や椅子を敷いて
本を増やして
新聞とか雑誌がある家にいるより
ココに来たいと
思える居場所少しお客の感覚で
利用できる方がいい！
→家賃はOK
→ガラの管理活動OK日替わり野菜
や手作品
ワークショップなど
ができるスペース
・野菜の販売
・ハンドメイドの販売
・WSができる子どもと行ける
プール、水あそびが
できるところがいい

3世代の広場

デイケアサービスの
ような機能を入れるライドシェアの拠点
・自動カー
・シェアサイクル
・お土産の
販売の下に設置

魅力的な将来像：子供と高齢者がイキイキ暮らせる街



【梶ヶ谷エリア】

魅力的な将来像：高齢者や障がい者にとって利便性があり移動しやすいまちに

グループ
4

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

第3回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.07.20

梶ヶ谷エリア

高齢者のリニア施設を集積させる

産業の地域に
近づく。住宅
が地域に集
約するアクセスを
充実させる

高齢者
施設を
集積させる

**遊休農地を農業と
いのちの食料**

農耕地の活用
への活用

**アットホームな利用に
スポーツ用施設を
充実させる**

アットホームと
利用した
スポーツ用の
施設充実

【高津区ガイドマップ】

移動地をまちへ

コミュニティバス
シェアサイクル
空のバス

移動しやすい
まち
高齢者
の
移動

コミュニティバス等
地域の足
充実

高齢者と
障害者の
移動
→バリアフリー
→コミュニティバス
→シェアサイクル

坂がめぐるまち

高齢者の
出かける
高齢者にとって
歩けるまちに

空のバス
まち

**昔の役所 梶ヶ谷
橋樹宮新に
向かう歴史の道
をつくる**

市庁舎裏側の
展望台

駅周辺に
圧迫やスパー
片寄らない
歩きやすい街



起点施設にあったらいいなと
思う機能とニーズを考えよう！

梶ヶ谷エリア

魅力的な将来像

第3回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.07.20

高齢者や障がい者にとって利便性があり、移動しやすいように

起点施設

みんなが大切に
したいと思った
将来に向けた視点

特定の施設に
限らない意見

梶ヶ谷
こども文化センター



地域子育て
支援センターかじがや



相手方施設

高齢者向けの
ケアにつながる

多世代が
使える

地域の歴史や
産業を活かす

アップダウンのお
地形を活かす

移動しやすい
高齢者や障がい
者が使いやすい

1人で立ち回り
やすく多世代
が利用できる
多世代交流
の場
施設を共有
する。年々増え
ていく。

市民が講師と
なる講座を
開く。
市民、住民同士
交流の場
講座も定期的
に開く。

老人11の家に
住みながら
高齢者も使える
こども文化センター
老人11の家に
(こども文化センター)
はああい

こども文化センター
2024 対象者向け
高齢者も使える
おもしろい施設
(先着予約)

子どもと
高齢者が
一緒に

高齢者向け
施設
月曜

子育てに
関係が
ある
子育てに
関係が
ある
子育てに
関係が
ある

子育てに
関係が
ある
子育てに
関係が
ある
子育てに
関係が
ある

西梶ヶ谷小学校
梶ヶ谷小学校
わいわい

都立草振児童センター
で、遊休農地
を市営に
10人に
分ける

歴史マップ
をつくる
橋本駅
根谷駅
中野駅
歴史マップ

梶ヶ谷の
デザイン
根谷100街
のイメージ
計画
プランニング

コミュニティバス
の路線新設
年々増加
集約エリア
の便

シェアリング
の場
に
ある
シェアリング
の場
に
ある

コミュニティバス
の路線新設
年々増加
集約エリア
の便

環境
マップ
をつくる
根谷100街
のイメージ
計画
プランニング

魅力的な将来像：坂があっても、多世代が集まり、子育てしやすく、子どもが自然にふれあえる

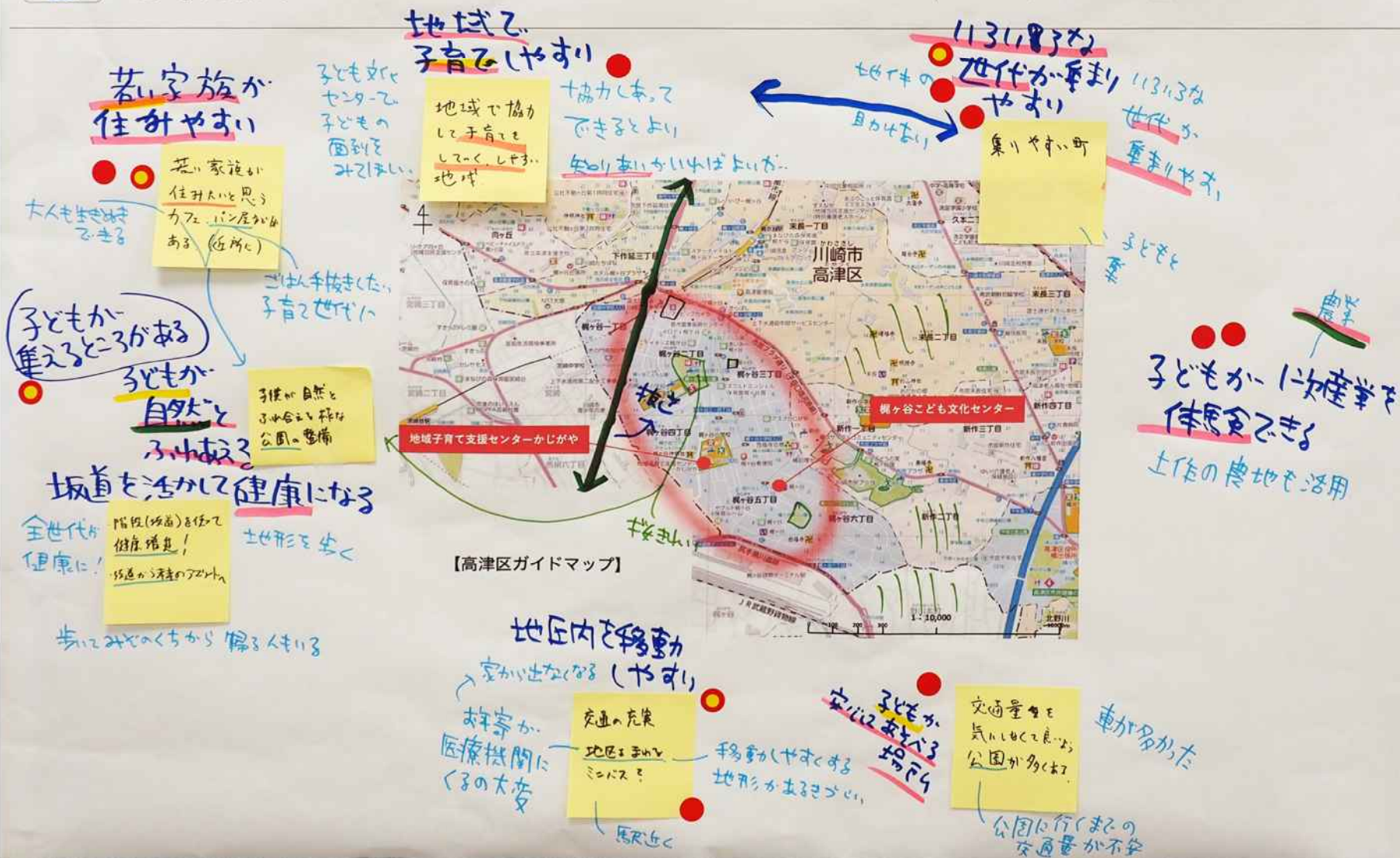
第3回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.07.20

グループ

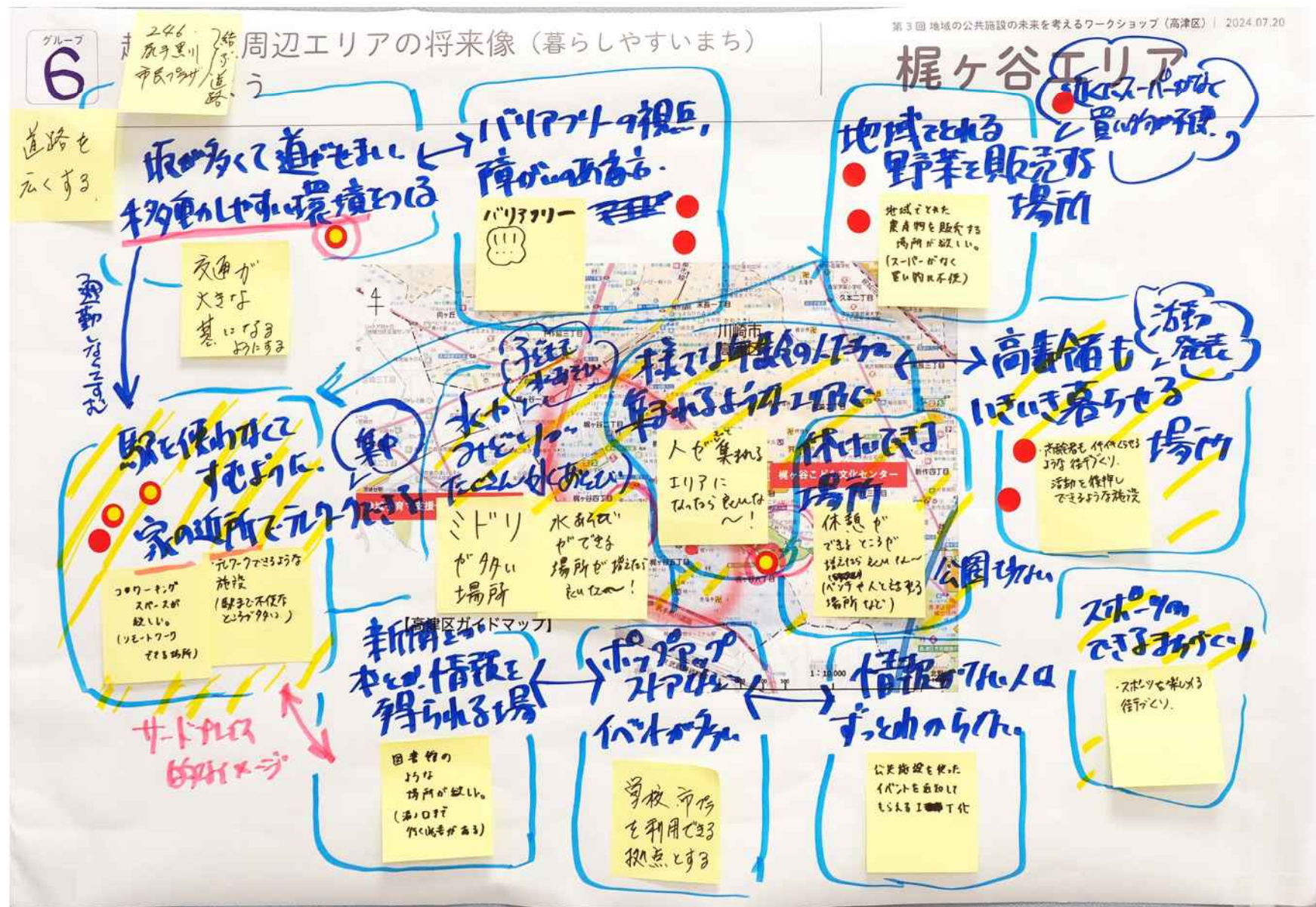
5

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

梶ヶ谷エリア



魅力的な将来像：家以外の近所の場所でも快適に過ごせるまち



家以外の近所の場所にも快適にできるまち

相手方施設

→ ഉപയോഗം

第4回

溝口エリア

令和6年度 公共施設の未来を考えるワークショップ 第4回 記録【高津区】まとめ

概要	
日時	令和6年10月6日（日）14:00-17:00
場所	高津区役所 5階 特別会議室
参加者数	14名
検討エリア	1～4グループ：溝口エリア



魅力的な将来像：他地域からも来たくなるような場があり、文化的な財産を活かしたまち



グループ
1

起点施設にあつたらいいな
と思う機能やニーズを考えよう!

溝口エリア (1・2 班)

魅力的な将来像

第4回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ (高津区) : 2024.

他地域がもたらしてくれるような場がある・文化的な見聞を活かしたまち

起点施設

みんなが大切に
したいと思った
将来に向けた視点

特定の施設に
限らない意見

男女共同
参画センター
(すくらむ21)

北部身体障害者
福祉会館

複合施設

わーくす高津

高津区休日
急患診療所

相手方施設

緑道などでも活かす
景観を重視した
重利がある

未活用の場も
利用する

施設が利用でき
ない場
→ 活用
→ 活用

歴史ある個人商店
と大型の店舗が
共存できる

人が集まりやすい
場がある

下山街道を
活用する

大井町線の
駅周辺
→ 活用
→ 活用

施設ではなく
「何をやるか」
「どうやるか」が
重要
使ってもらえるように
グランドUPする。

体験型
プログラムが
多い

働く人にも
便利な施設が
ある

施設が利用でき
ない場
→ 活用
→ 活用

家の中にある
在宅ワークスペース
として活用
(利用時間...)

使っていない
時間の
有効利用

高津区休日
急患診療所
元々ワンマン
カーシェアース
として活用

時間外の使
いない時に
活用して
ワークスペース

7つのかけがえ
ない「福祉会館」の
あり方を考える

福祉会館の
あり方を考える
→ 活用
→ 活用

民間の病院に
「急患診療所」の
機能を移す

当分の病院
に
お預けする

スタンプラリー
などを通して
「いっしょにできる」プログラム

高津区休日
急患診療所
すくらむ21
に移す。

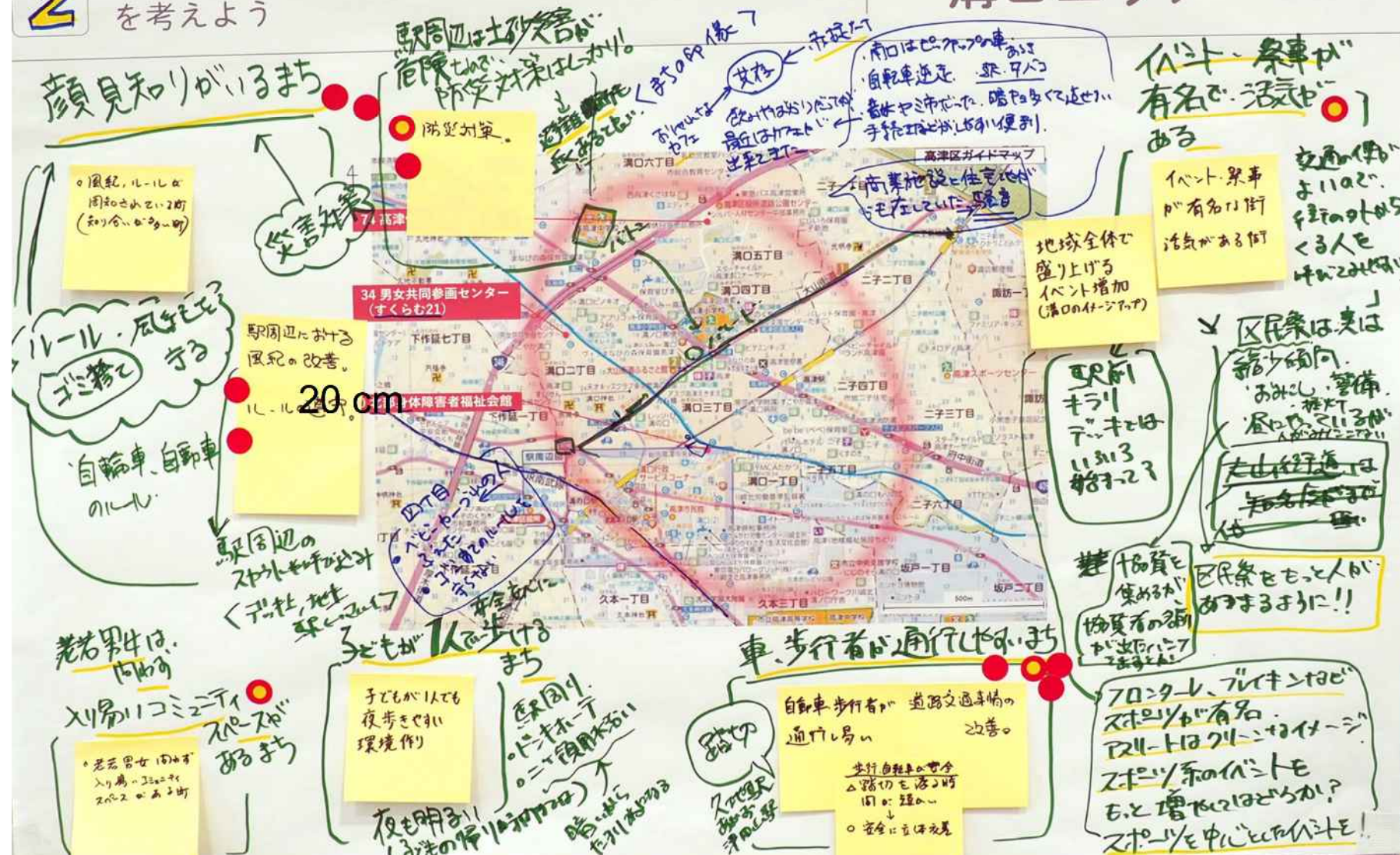
魅力的な将来像：人にやさしくインフラが整備されたまち

第4回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.

グループ
2

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

溝口エリア (1・2 班)



グループ
2

起点施設にあったらいいな
と思う機能やニーズを考えよう！

溝口エリア（1・2 班）

人にやさしくインフラが整備されたまち

起点施設

みんなが大切に
したいと思った
将来に向けた視点

特定の施設に
限らない意見

男女共同
参画センター
（すくらむ21）



北部身体障害者
福祉会館



複合施設

わーくす高津

高津区休日
急患診療所



相手施設

顔見知りか
つくれる

地域のイベント
の活性化

災害対策
（避難先・安全）

安心・安全に
歩ける

風紀ルール
が同然に守れる

高津区が主催する
イベントや行事は
多いけど、地域
の活性化に
つながっているか？

山腹大田町は
安全ですか？

高津区は
安全で安心な
まちですか？

使う場所を
増やしたい

高津区が主催する
イベントや行事は
多いけど、地域
の活性化に
つながっているか？

公共施設は
避難場所になる
けど、安全で
安心な場所
になるように
してほしい

市民館の機能
が活かせるか
考えてほしい

男女共同参画センター
（すくらむ21）
↓
高津市民館に
統合する。

共通認識

利用対象者の
垣根なく
使える

人々の交流の場を
増やしてほしい

すくらむ21の
上での交流増加
（部会・部会
・部会）
→ 交流の場を
増やしてほしい

学生ニーズ

① 鏡のあるスペース
がほしい

高津区が主催する
イベントや行事は
多いけど、地域
の活性化に
つながっているか？

立地が良ので
休日急患診療所と
連携して

高津区 風紀員
の待機所

風紀員の待機場所

機能維持

北部身体障害者
福祉会館について
検討してほしい

高津区休日急患診療
所については、高津
区にある他の公
共施設へ移転す
るべきか？

機能と連携
他の施設との
ありか

休日急患診療所

高津区
・西高津
・中津
・高津小坂
・高津町

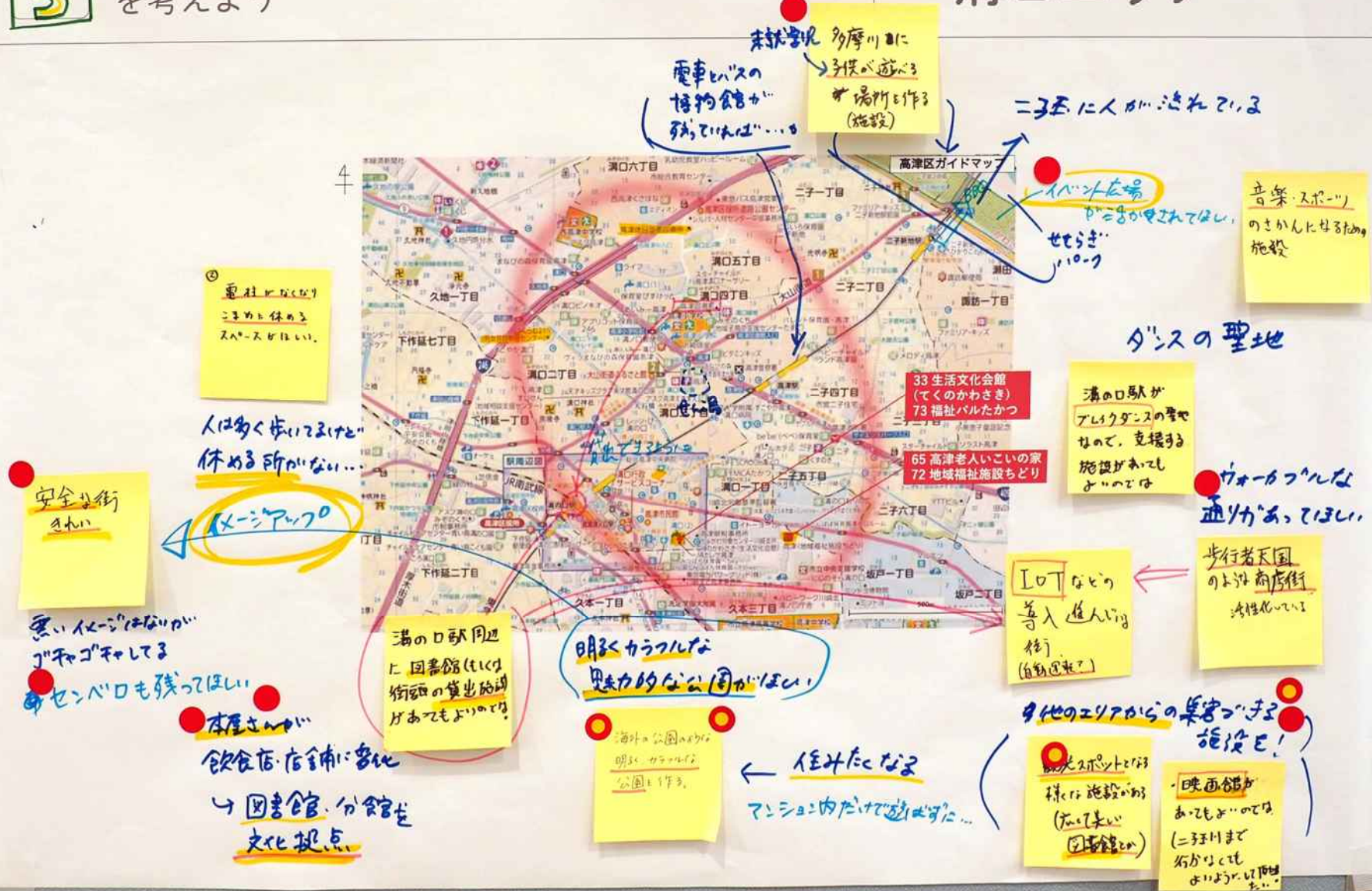
魅力的な将来像：住んでる人にも住んでない人にも魅力的なカラフルなまち

グループ
3

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）
を考えよう

第4回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） 2024.

溝口エリア (3.4 班)



3

起点施設にあったらいいな
と思う機能やニーズを考えよう!

溝口エリア (3・4 班)

魅力的な将来像

第4回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ (高津区) | 2024

任にる人にも 任にない人にも 魅力的なカラフルなまち

起点施設

特定の
限らない

正物
変える

5F
4F
3F
2F
1F

生活文化会館
(てくのかわさき)

月~日 9:00~21:00 150人/年 来55年
施設開業の歴史

複合施設

福祉バールかつ

社会福祉協議会 27人/年
平日 月水金土日(休) 8:30~17:00
火・木 8:30~21:00

5F
4F
3F
2F
1F

地域福祉施設
ちどり

月~土 9:00~16:00 30(水曜~20:30)
6千人/年

複合施設

高津老人いこいの家

月~土 9:00~16:00
1万人/年

相手方施設

昭和レトロな生かしたコンテンツを
(スマートフォンアプリ)

WiFi
Cafe
行きたい
コワーキングスペース

本屋・ワークスペース・音楽の
利用をアピール!

中央図書館
図書室
図書室
図書室
図書室

コワーキングスペース
一部は無料
月~土 9:00~17:00
月~土 9:00~17:00

子供が訪れて
技術にふれるチャンスにする

図書館の
分館にする

学校で授業で
利用出来るように
する
(タブレット・PC等)
活用出来るように

図書室
図書室
図書室
図書室

音楽スタジオ
音楽スタジオ

子供が訪れて
技術にふれるチャンスにする
→大人にも活用出来るように

壁面を装飾して
映画上映する

入居者と
プロジェクターで
映画上映する
上映する
上映する

外から見ても
映える建物に
ガラス張り

中高生の
居場所にする

中高生の
居場所として
利用する

多世代が
使える
イイ感じ!

多世代利用
いこいの家
(図書室・2F)
多世代利用
多世代利用

公園
公園
公園

多世代利用
いこいの家
(図書室・2F)
多世代利用
多世代利用

他のエリアから来た
なる施設が欲しい!

ワークスペースがほしい
休める場所がほしい

文化拠点
(図書館など)
希望がほしい

明るくカラフルな
公園があるといい

多世代利用の
場所があるといい
(子供も利用できる)

魅力的な将来像：幅広い年代が好きな過ごし方ができて、その場所に安全に移動ができるまち

第4回 地域の公共施設の未来を考えるワークショップ（高津区） | 2024.

グループ
4

起点施設周辺エリアの将来像（暮らしやすいまち）
を考えよう

溝口エリア（3・4 班）

自転車やベビーカー
歩行者が安全に移動できる

自転車・ベビーカー
での移動が安全な所

歩車分離をすめ
安全な道づくり
(広く、明るい道路)

平日の何時か
何時まで
歩行者のみ

行政と民間が
協力しながら
取り組む

人が集うスペースがあり
様々な交流できる

人が集うスペース
あり、交流できる
・学生
・スタートアップ

人が集うスペース
あり、交流できる
・学生
・スタートアップ

色々な年代が
コミュニティとして
コミュニティとして

スタートアップ!

広い場所を有効に保つてほしい

広く
いろいろな年代が
集まる場所がある

ショッピングモール
の展開
企業+公共施設
の融合

丸井もたくさん
若者が集まる場所

自然を活用して
散歩できる

タマ川が便利に
なった

ノクターンの上に
広い場所がある
が使われていない



安全に
移動できる